

答 ク効も重が導の体制 チ果の複配入最問

問 口蹄疫に対する
本市の危機管理
体制は。宮崎県から
の最近における子牛
導入状況は。県と市
が配付する消毒液は
重複して配付される
ものか。また、薬の
効果は。感染予防ワ
クチン投与の実施は。
答 昨年11月5日に
「遠野地域家畜
伝染病等防疫対策連
絡協議会」を立ち上
げている。構成員は、
市、県南家畜保健衛
生所、県南広域振興

局、普及サブセンタ
ー、県獣医師会遠野
支部、JA、NOS
A I、畜産公社で、
会長は、市農業活性
化本部畜産担当部長
としている。必要に
より対策本部の設置
を要請することにな
つては、宮崎県か
らの子牛導入につい
ては、3月以降導入
された牛はない。
消毒薬について、市
内 6 8 9 戸の畜産農
家に 20 キロ入り消石
灰を 3 ~ 4 袋配付し



対面通行が困難なほど狭くて危険な消防署北線



(注1)スプロール化が進行する地域の市道「消防署北線」の整備促進を

菊 池 民 彌 議員 (正心會)

た。県から25キロ入りの炭酸ソーダナトリウム1袋を6月10日以降に配付予定である。消石灰は、アルカリ性が強く、一次予防対策用、炭酸ソーダナトリウムは水に溶かし、作業靴等の消毒に使用するもの。牛のワクチン接種をすると、その業にとって貿易上の多大の利益を享受できないと聞いている。牛はほ菌牛となり、輸入・輸出の問題が発生するなど、畜産等の消毒に使用するものは、合併後も生きているプランか。狭隘で危険な市道「消防署北線」を都市計画街路事業として整備すべきではなかいかない場合とは、市道「新張羽根通線」の整備手法もあるのではと思うが。市長は、都市計画事業の見直しを検討しなけ

ればと発言しているが、計画事業を強力に促進を図るべきではないのか。
答 旧遠野市のマスタートッププランを現在も継承している。住家が密集している道路の拡幅事業は、用地費、補償費が嵩み、事業費が多額となるため、補助事業等によらなければ着手することが困難である。この道路は、地域住民の理解も得ながら市全体の道路整備の中で、整備方向を考えなければと思つてゐる。県では、「都市計画路線見直しマニユアル」に基づき、対象路線の検討に入つた。当市も、市民の意見を聞きながら見直しをしなければならない。

ればと発言しているが、計画事業を強力に促進を図るべきではないのか。

答 旧遠野市のマスターープランを現在も継承している。住家が密集している道路の拡幅事業は、用地費、補償費が嵩み、事業費が多額となるため、補助事業等によらなければ着手することが困難である。この道路は、地域住民の理解も得ながら市全体の道路整備の中で、整備方向を考えなければならないと思つてゐる。県では、「都市計画路線見直しマニュアル」に基づき、対象路線の検討に入った。当市も、市民の意見を聞きながら見直しをしなければならない。

その他の質問

注1 スプロールとは…<不規則に広がる意>
都市の郊外に無秩序・無計画に宅地が伸び広がっていくこと。「一現象」「一化」